

令和3年度学校経営計画書

学校名 三次市立八幡小学校
校長名 湯浅るみ

I 学校の状況

学級数	3	児童・生徒数	16	教職員数	6
メールアドレス	yawata-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.kisayawata-e.hiroshima-c.ed.jp				

II 学校教育目標

【吉舎中学校区教育目標】

自ら学び、考え、自立した行動ができる「きさ」の子どもの育成

【八幡小学校教育目標】

やさしく かしこく しなやかな 児童の育成

III 使命・存在意義（ミッション）

『愛され、求められる人材の育成』に貢献する。

○自学力の育成

○グローバル（グローバルな視野を持ち地域貢献できる）マインドの育成

IV 重点事項（努力点）

【身につけさせたい資質・能力】

コミュニケーション能力 主体性 アイデンティティー

- 1 「特別の教科 道徳」に焦点化した9年間を見通した授業改善
「自己を見つめ、自己の生き方(小)・人間としての生き方(中)についての考えを深め、よりよく生きようとする力を育む道徳教育の創造」
～ステージ発問の実践を通して～
- 2 保小中高一貫でつなぐ「きさで きさの子を 育てる」
小・中・高クリーン活動
吉舎教育の日
生活習慣・学習習慣でつなぐ「保護者講演会」
掃除・宿題・片付け ⇒ 自学力
- 3 3つのプロジェクト
(1) オペレッタ「八幡の四季」20周年へ
(2) 「ふるさと吉舎八幡」とつながり隊始動（年賀状・遠足・八幡子供太鼓）
(3) ようこそ奥田元宋の母校へプロジェクト（とっておきの一枚）

V 中心価値・行動規範

「八幡小学校で学んでよかった、あの先生に学んでよかった」

と思える教職員を目指します

自学・・・自らの授業力・職務能力を磨く教師

礼節・・・ホスピタリティーをもって組織的に職務を遂行する教師

一生懸命・・・子供を信じ、認め、尊重し、夢と志をもたせる教師

VI 現状分析

学校内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境 ・地域社会の期待と積極的な支援（外部講師） ・日彰館高校との連携（グローバル人材の育成） ・中国やまなみ街道 ・後鳥羽上皇伝説・歴史と文化 <p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科支援教員配置 ・外国語指導員配置 ・ALT 配置 <p>【県教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間連携加配（音楽） 	<p>S (強み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥田元宋画伯の母校 ・小由女先生との交流 ・きめ細やかな少人数指導 ・やわた子ども太鼓とオペレッタ芸術文化の継承 ・異年齢集団による学校行事・児童会活動 ・小中高一貫教育の充実 <p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が定着している。 ・規範意識が高い。 ・生活習慣が整っている。 ・一人一人に活躍の場がある <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動への保護者満足度は100% 	内部環境	<p>【資質・能力】</p> <p>主【主体性】</p> <p>コ【コミュニケーション能力】</p> <p>ア【アイデンティティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品模写・小由女先生との交流の継続 主コ ○やわた子ども太鼓オペレッタの継承 ア ○コンクールへの挑戦 主 ○働き方改革の推進 主・コ・ア ○情報発信 主・コ・ア
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩通学の困難性 ・少子高齢化が進み、戸数に対して児童数が少なく、点在しているため、休日や放課後の子供の集団遊びがない。 ・実体験に乏しくゲーム依存の傾向にある。 	<p>W (弱み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭兼務 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を受け止めたり、多様な意見を交流したり、相手のこと考えて行動したりする経験が乏しい。 ・学力到達度検査の結果、目標値に未達成の児童がいる。 ・（体力テスト）に課題。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会員数の減少（12） 		<ul style="list-style-type: none"> ○子供が主体的に活動を広げ自己有用感を高めることができる活動の推進 コ ○公正で個別最適化された学びへAIを活用したドリル導入へ 主 ○保護者との信頼関係 主・コ・ア

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力	一人一人の児童の実態を踏まえた学力の向上を図る。	(1) 基礎・基本の定着	① 自己目標の設定 ② 「公正に個別最適化された学び」の導入により学び直しをさせる。（ドリルタイム等）
		(2) 課題解決力の育成による主体性の伸長	① 毎時間自分の考えをノートに書かせる授業づくり。 ② 自分の弱点（間違った問題）を自主ノートで復習する。 ③ 各種作品コンクールに年間で一人6本以上取り組む。（習字・俳句・作文・写生大会・科学研究など）

豊かな心	グローバルマイ ンドの育成を目 指し、思いやりと 郷土愛を育む	(1) 子供が主体的に活動を広げ自 己有用感を高めることがで きる活動の推進	① 朝会の感想交流は全員が発表する よう仕組む ② オペレッタ・八幡子供太鼓の努力 ぶりを全校の前でしっかり評価す る。(児童同士・教職員) ③ 縦割り班で協力して、無言掃除を 時間いっぱい行う
		(2) 礼節と思いやりを育む 生活3ヶ条の推進	① 授業研修を行う。吉き舎どりプロ グラムを作成し授業と行事の関連 性を明らかにする ② ステージ発問の導入を意識し、道 徳の授業を充実させる。 ③ 「あいさつ・返事・はきものそろ え」を奨励し、その成果を評価す る
		(3) 一人一人が主役の教育による アイデンティティーの確立	① 地域に学びふるさとを大切にす る思いを育成するために「生活科・ 総合的な学習の時間」等の指導を 充実させる。 ② 行事や委員会などで一人一人が活 躍する場を設定し、成功体験を積 ませる。
健やかな体	体力づくりの推 進	(1) 保健教育の充実	① 学期に1回、個人面談を行い、自 分の健康課題に気づかせる。 ② マスク、手洗いの習慣を身につけ させる。 ③ テレビ・ゲーム・インターネット の時間を決め、生活リズムを整え る。
		(2) 体力の向上	① 合同体育・全校体育を実施し他学 年と切磋琢磨することで体力の向 上をめざす。 ② 頑張り表や記録証を活用し、自己 目標を設定させる
愛される学校	信頼される地域 の中の学校づく り	(1) 地域・保護者の満足度の向上	① 毎月2回以上便り、通信等で子供 の様子を具体的に発信する。 ② 家庭・地域と一体となった防災教 育をすすめる。
		(2) 働き方改革の推進	① 教職員の意識改革を進めるための 研修の実施。 ② 一斉退校日の完全実施。